

「いこいこ」は、みんなで子どもたちに関わり、子どもたちの生きる力を育む拠点となるような施設へ！

コンセプト

学び ・ つながる ・ 豊かな心

親子で自由に「遊び・学ぶところ」

館内の遊具で自由にあそぶことができます。遊具やおもちゃは安全とは限りません。その中で**安全を考えながら、感性や創造性を養いましょう。**

人と人が「つながるところ」

利用者同士で情報交換をしたり、悩みを話したり、スタッフにちょっと気になることを気軽に相談したり…。**みんなで子育てする場です。いろんな人と関わってみましょう。**

遊びや体験を通して「豊かな心を育むところ」

利用者同士の交流や多様な他者同士と一緒にあそぶことで、**人を思いやる気持ちの醸成や互いに尊重しあう関係づくりに努めましょう。**

雲仙市子どもの遊び・学び場いこいこ

〒859-1206 長崎県雲仙市瑞穂町西郷辛621番地7

電話：0957-73-6412

開館時間：10時～16時

休館日：毎週火曜日と水曜日・年末年始（12月29日～1月3日）

※上記に関わらず臨時開館、休館の場合があります。

利用料：無料（小学生以下は保護者同伴での入館が原則となります。）

施設ご利用にあたってのお願い

- ・保護者や他の利用者、スタッフみんなで子どもを見守りましょう。
- ・他の利用者やスタッフと協力し、互いに気持ちよく利用できるよう配慮しましょう。
- ・遊びのマナーを守り安全に配慮しながら利用しましょう。

遊びのマナー

- ・それぞれの遊具のきまりを守りましょう。
 - ・順番を守りましょう。
 - ・ゆずりあいの気持ちを持ちましょう。
 - ・まわりを思いやる気持ちを持ちましょう。
- ※万が一、破損または破損が生じた場合は、スタッフにお声がけください。

みんなでなかよく
あそぼうね

「いこいこ」はあぶないところ!?

「安全に対する意識」を高めましょう

「室内だから安心」ということはありません。危険はいたるところあります。特に子どもたちは好奇心旺盛で予測不能な行動をとりがちです。事前に「どこに危険があるだろうか」「どんな行動がけがにつながるだろうか」など、事前に家族で話し合い、安全に対する意識を高めることが大切です。

「どうやったら安全に遊べるか」を工夫しましょう

危険を乗り越える経験も、子どもたちの成長にとって大切なことです。「危ない遊びはしない」ではなく「どうやったら安全に遊べるか」を工夫しましょう。それが、「まわりの人の安全にも配慮できる力」となり、自分の安全ばかりではなく、他の人の安全を守ることに繋がっていきます。